号外 会津会工会報 卒業式特集号

発行所
福島県会津若松市
徒之町1の37
発行人　吉田一栄

創立当時の母校

校歌

明治三十七
春なかば
礎堅くきづかれて
星霜ここに
幾かへり
平和の覇者を
育みぬ

ご卒業をお祝いします

会工同窓会会長
全会津会工会会長
吉田セメント工業㈱
代表取締役　吉田一栄

卒業生の皆さん、おめでとうございます。此たび、わが同窓会に若さ溢れる三七二名の皆さんをお迎えすることになりましたことはご同慶に絶えません。

会工同窓会員は創立以来一万五千余名の多きに達している現状で、各先輩は北は北海道から南は沖縄まで津津浦浦に至るまでの各分野で活躍しておられます。また最近は技術指導のため海外に渡航されている人々も多く、益々発展を遂げている現状であります。ここに皆さんのように若くはつらつとした同志を迎えることのできますことは、会の飛躍につらなることでありまして（昭二〇窯業科卒）

今後の活躍を期待するものです。本校同窓生は前述のように日本全国で活躍されておりますので各地には地域の会工会があり、また皆さんの就職する職域にも職域会工会が結成されておりますので皆さんが入社しますと歓迎会などを開いてくれるでしょう。また進学をされる方々も多いと思われますが、それぞれの進学校で各自の能力を十二分に発揮して勉学にいそしんで下さい。

しかし皆さんがこの伝統ある会津工業に学び勉学や人格の育成に専心できたのも父母、恩師そして郷土社会の暖かい思いやりがあったことを忘れてはなりません。この学園ではぐくまれた人間形成の基盤の上に立って本日から社会の荒波に雄雄しく舟出するわけですが、生涯にわたってこの高校時代は楽しい思い出とし

会津会工会の皆様へ

学校長　小森五良

同窓生の皆さんにはお元気で、それぞれの職場でご活躍のこととご推察申し上げます。

今冬の雪は、二月はじめの短期間に一米以上の積雪があり、当地としては何十年来の豪雪とかで、汽車、バスなどの運休が続出し、生徒、職員の通学通勤に非常に苦労しました。しかし特にこれという事故もなく無事過ごすことができましたが皆さんにはいかがお過しでしょうか。

さて、早いもので本年度も後僅かとなりました。昭和五十四年度の卒業生も就職に、進学にそれぞれ進路が決定し、来る三月一日の卒業式後は先輩各位の職場へも多数就職することと思います。どうか後輩のため先輩として、また良き指導者としてご指導下さるようお願いします。

次に母校の近況を二点ばかり申し上げます。第一点はデザイン専攻科が五十五年度から募集停止になったことです。デザイン科が専攻科として新設されたのは昭和四十二年でした。当時会津の伝統工芸である漆器や陶器のデザインを古い良いものを残しつゝ、しかも時代に即応して一層立派なものにするためには是非デザインの研究が必要とのことで設立されたものです。その後十三年、漸く卒業生の活動が関係業界で認められんとしつゝあるとき、会津短大に四〇名定員のデザイン科新設、会津工芸試験場にもデザイン科新設と皆さんの雄飛を望む

全会津会工会　副会長
梁取秀和（昭和七年応化卒）

卒業生の皆さんおめでとうございます。三年間の螢雪の功なり、めでたく卒業される皆さんに心からお祝い申し上げます。皆さんを迎える社会は平穏ではありませんが雄雄しく立ち向って下さい。日本の工業技術は今や世界的なものですからあなたの重要性に対する警鐘が企業にあるいは短大に、さらには試験場にと各分野にわたって結実したことを考えると一応本校としての使命は十分に果したものと評価できると思います。デザイン専攻科に対する長い間のご協力に対して心から敬意を表します。

なお残された生徒が後一年あります。学校としては全力を尽して指導し、有終の美を飾って閉講したいと思いますので最後までご支援ご協力下さるようお願いします。

第二は、体育関係の施設として昨年度、会津方部の高校では最高の弓道場を新設しました。さらに本年度は元会津工芸試験場跡に格技場を建設し、現在剣道場として使用しています。このように体育関係の施設も逐次整備され、生徒の生徒会部活動も益々活潑化しており、生徒の人間形成に大きく貢献していることはまことに喜びに堪えません。そのうえ、各部ともOBの方々がご多忙のところ来校

うことで本校のデザイン科が廃止となったことはまことに残念です。しかし会津の工芸品に対するデザインされ、後輩のためにご指導いただいておりますこと、まことに有難く厚くお礼申し上げます。

お蔭様で昨年度に引きつづき今年度も福島県高校体育連盟会津支部杯を獲得することができました。これは会津方部の高校でスポーツ成績が最高である学校に授与されるもので、まことに幸栄であり会工健児の意気を示したものと思っております。

どうか今後共母校発展のため一層のご支援ご協力を賜わりますようお願いします。

おわりに皆さんのご多幸とご健康をお祈りいたし、併せて母校の発展を共に祈願したいと存じます。

全会津会工会　副会長

若松ガス化学㈱取締役
若松ガス㈱総務部長
ホテル原滝総務部長
山添茂（昭和五年応化卒）

こそが良い社会をつくるのだという教えです。

人は誰でもそれぞれの心の中に灯のともる「ろうそく」をもっていて良い人とつき合い、良い知識を得、良い行いをすればその「ろうそく」つまり無人灯に灯がともり社会を明るく、ひいては地域社会を発展させるという教えです。

皆さんもこれから一隅を照らすものの道心をもって生きて下さい。

そのうけもつ一隅がどんなに小さく、みじめで、はかないものであろうとも、わるびれず、ひるまず、いつもほのぼのと一隅を照し続けてほしいと思います。

船若心経の中で「国宝とは何ぞや、道心あるものこれを国宝という、経寸十枚国宝に非ず一隅を照らすもの、これすなわち国の宝なり」と教えられております「一隅を照らすもの」これは私の会社の只一つの社是として社長以下一社員まで常に「一隅を照らす者」にならんと日夜精励努力をしております。

どんなすばらしい宝物よりも、清く正しくそして暖かい心、即ち道心のある人

全会津会工会　副会長

ほまれ酒造㈱代表取締役社長
唐橋国八（昭和七年応化卒）

たちも国内だけでなく海外への雄飛も考えられます。そのため技術の練摩は勿論のこと、人格の陶冶にも邁進して下さい。

今後の皆さんの活躍を期待し、ご発展を祈ります。

卒業生おめでとう

毎年三月卒業式を迎える

全会津会工会 副会長
野球部 ＯＢ会幹事長
片平石油販売㈱
片平忠正
（昭和二十五年窯業科卒）

と、私は高校時代夏の甲子園大会出場をめざし厳しい特訓、練習の数々が思い出されます。

厳しく苦しく汗びっしょりの涙、涙、でも良い思い出でした。今でも同級生と当時を懐しく語り合っています。

卒業生の諸君は進学、就職と別別の道をあゆまれますが、一九八〇年代激動、試練の時代を会津工業魂をもって、荒波を乗り越えて立派な人間になって下さい。

最後に卒業生諸君のご多幸、ご健康を祈ります。

全会津会工会 副会長
会津坂下町役場
二瓶隆男
（昭和二十五年漆工科卒）

お祝いの言葉

全会津会工会 幹事長
会津工業高校工芸科長
山内清司

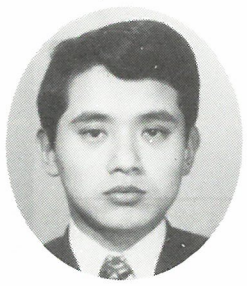
（昭和１３年漆工科卒）

卒業生の皆さん螢雪の功成り、晴れの卒業式を迎えられますこと洵におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。皆さんはすでに就職あるいは進学もきまり、又これから試験をうけられる方もあると思いますが、どうか合格されますことを祈ってやみません。さて皆さんが卒業されますと、同窓会員として元気溌剌たる三七二名の方々をお迎えすることになり、同窓会としてまことにうれしく、又力強さを感じます本校には皆さんの先輩である同窓の先生が三十六名もおられ、鶴友会という会をつくり、お互いに親睦をはかり学習指導を通して母校の発展と、同窓会の仕事につとめております。

同窓の先生方がこのように多くおられる学校は他にあまり例がないと思います。随って責任の重さを常に身に感じております。後輩である皆さんが三年間の高校生活を通して、学習に、クラブ活動に悔いのない充実した、しかも楽しい学校生活を送れるよう常に心にかけております。本校が明治三十七年四月開校され、現在まで一万五千余名の卒業生をおくり、同窓の方々が全国各地でそれぞれの分野で活躍されておりますことはまことにうれしく思っております。さて同窓会の組織について申し上げますが地元は勿論、各地区（東京近畿、東海など）に会工会が組織されており、役員の方々を中心に相互の親睦をはかり活動されております会津においても従来若松会工会がございましたが、去る五十三年十月全会津を一丸とした会津会工会（事務局、母校内）が発足しましたことはご同慶にたえません。例年秋には総会を開催いたしますので、会津在住の同窓の皆さんは、是非ご出席いただければ幸いです

同窓会の発展が即母校の発展に結びつくことでもありますので、各地区との連繋を密にし同窓会活動の充実をはかってゆきたいと念願しております。どうかご理解をいただいて同窓生であるという意識を深め、それぞれの地域でご活躍、ご協力をお願いする次第です。帰省の折には、又最近は地元に就職される方も年々多くなってきております。お暇の折には是非学校にお立寄りいただき、近況などお話を伺いたいと思っております。どうか健康に充分留意され、会津工業を卒業したという誇りと自信をもってそれぞれの職場で活躍されますことを期待してお祝いの言葉といたします。卒業まことにおめでとうございます。

全会津会工会 副幹事長
会津オリンパス㈱
千葉鉄雄
（昭四十一年化工科卒）



全会津会工会 副幹事長
会津若松地方広域消防署
猪苗代出張所長
箭内栄一
（昭和十六年漆工科卒）

＝職域会工会＝

若松ガス会工同窓会 会長
若松ガス㈱庶務課長
金子幸
昭和二十三年機械科卒

「生涯教育」という言葉が、今、我々の身近な所でしばしば目につくものである。我々が、生まれてから死ぬまで、何らかの形で学習し続けなければならないということである。というのも、この変化の激しい今日、昔のことにこだわったり、又、その学習で満足していたりすれば、すぐに激しく渦巻いているこの現代で、はじき返されてしまうのである。

目・耳に入るマスコミの量は、膨大なもので、それを消化することは不可能と言っていいほど幅広いものである。その消化量を一つでも多くしようとする心掛けが、学習という態度として表われるのである。

学校という公の場所を卒業すると、それで全て終ったという安堵感を持たれている方も大勢いらっしゃるでしょうが、常に自分のため、そして、これからの時代を生き抜くために、何事にも興味を持ち、常に学習という態度を忘れないでいてほしい。

菊根分け、あとは自分の土で咲け

卒業生の皆さんおめでとう。厳しい世情の中にとびこんでいく不安と期待が交錯する今日この頃だと思います。

会津オリンパス係長
千葉鉄雄
昭和四十一年工業化学科卒

我、会津オリンパスと同窓会の近況をお知らせします

今年で十周年をむかえる我社は、今全社員一願となって「世界の会津オリンパス」づくりに燃えています。業界のトップにある技術力を結集して、製品化される数々のヒット作品の土台を私達会津オリンパスの一人一人がささえているという気迫が常にあります。その中心的存在の中に母校を卒業した四十名の先輩諸兄がおります。私達は寝食を忘れ、会社の仕事を通して、自分の人格をみがきあげるという我社のモットーを心底、身体にたたきこんで毎日の生産活動をしています

皆さんがこれからとびこむであろう社会は、私が十四年前に飛びこんだ社会と厳しさの程度に格段の差があるということです。おまけに私達はベビ！ブームの先陣でしたから、その面でも厳しいものがありましたしかし、企業の倒産、大きな世界の動きは記憶になかった様に思います。あっても日本の経済を根底から動かすことはなかったでしょう。しかし、今は皆さんが知っての通りです。その真只中へ飛びこんでいくわけです。何らかの自分に「確」たるものをもっていなければならないでしょう。それはこれからの一日一日の生活の中で、身体で感じながら一つ一つ身につけていって下さい。私は卒業して十四年、そろそろ身体も頭脳もコレステロールのたまる年頃です。今、一からきたえ直すとしたら、骨も皮もボロボロになってしまうでしょう。しかし皆さんは、これから燃えてきたえる時です。今、熱くもえているこの時期を決してのがすことなく、大意に鍛練して下さい。

皆さんに「昔は……。」という言葉はもう通用しないかもしかません。しかし先輩諸兄の努力あっての社会であり、企業であり、家庭であることです。そして新しい血の通った社会、企業、家庭づくりに邁進して下さい。

最後に皆さんの学んだ三年間の中に、自分の気持を熱くした教科書、小説の一行、恩師の一言、グランドでみた友人の一行動が必ずあるでしょう。苦しかったらそれを思い出して下さいそれを糧にして前進出来る人間を会津オリンパスは待っています。

福島会工会
福島市北五老内町五五
会長 **栗村市郎**
大八染織（現繊維）科卒

―各地区会工会―

東京会工会
千葉県習志野市東習志野四―十二―十二
会長 **井上真市**
昭和十五年応化（現化工）卒

東海会工会
名古屋市瑞穂区密柑山
会長 **鈴木登**
（昭和五年窯業科卒）

郡山会工会
郡山市赤木町一七三
会長 **渡部文**

近畿会工会
大阪市城東区中ノ浜二―七―七
会長 **井上武美**

いわき会工会
いわき市小名浜町高山三四
会長 **蒲生伸吾**
（昭和二十六年電気科卒）

編集後記

春めいて来たとはいえ、余寒が厳しく、周囲の山々は白雪におおわれたままであります。しかし春がもうすぐ近くまで来ていることは日々の陽光の中にも感じられ、春の足音が聞えてくるようです。

この度、皆さんの卒業をお祝いして会報の号外を発刊しました。社会に舟出する皆さんの少しでも参考になったら幸と思います。

就職へ、進学へと母校を巣立つ皆さんへ同窓生諸氏も暖かい目で見守ってくれることでしょう。あなたたちを育くんでくれた父兄、恩師、更に郷土のためにも立派な社会人として成長されることを望みます。

同窓会の事務局としては皆さんの所在を明確にするため住所調査の葉書をお渡しすることになっておりますので、卒業後おちつかれたら是非ご返信下さい。

いろいろの問題が生じましたら各地区会工会の事務局に相談されるのも一方法かと思います、また学校と同窓会が提携して、関東地区新卒者の懇談会などの計画もございますので案内状がとどきましたら是非出席し、恩師との交流を深められたらと思います。

卒業後も健康にはくれぐれも留意され、将来ますます成長、発展されることを祈ってやみません。